

業界初、ウエイトバランス調整が可能

「エリートグリップ」がデビュー

エリートグリップ



軽部央社長

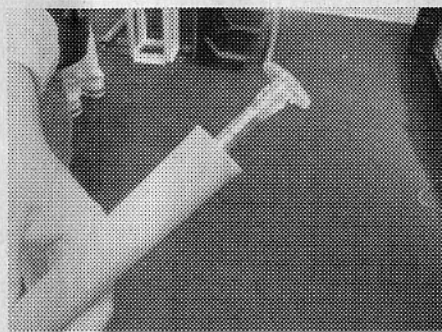
スをゴルフファー自身で調整できるのが特徴。

グリップエンドにABS樹脂製のキャップを挿入してウエイトバランスを調整するシステムで、キャップの芯に鉛テープ(48 μ m)を巻き付けることで、自分のスイングに合ったバランス調整が可能。

2010ジャパンゴルフフェアで注目の初デビューを飾ったのが、業界初のウエイト・コントロール・システム(WCS)搭載のカラーグリップ「エリートグリップ」だ。昨年11月に設立したエリートグリップ(本社東大阪市、社長軽部央氏)が開発したもので、グリップ本体のウエイトバランス

認できる凹凸ラインを1インチ刻みで設けている。

このほか、センターラインに3・2 μ mのスワロフスキー・ラインストーン(別売)を埋め込むことができるフィニッシュ



また、グリップ表面には、30度と50度という2つのラインポイントを刻み込むことで、バンカーショットなどの際の握りの目安を確認できる。さらに安定したショットを得るために握り位置を確

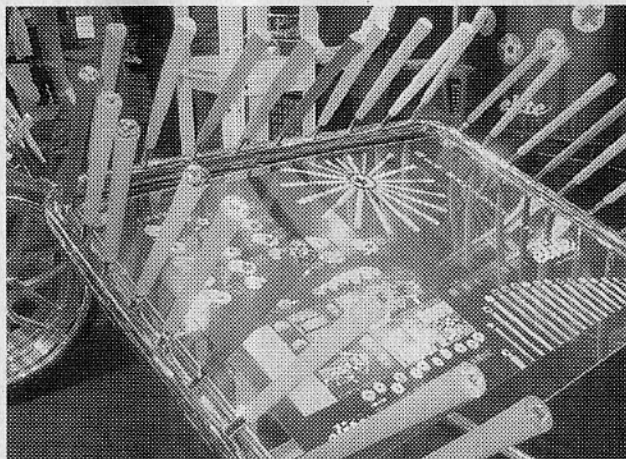
を採用するなど、ファットションも楽しめる。

グリップの本体素材は、スタッドレスタイヤに使用されている、雨天でも滑りにくく、高耐久性の「シリカ」を配合した「NK510エラストマー」を採用。

アベレージゴルフファー向けのニュートラルモデル「N48」、シボ加工を

採用したアスリートモデル「A50」、パターングリップ「P80」の3種類があり、いずれも18色のカラーバリエーションを揃え、オープン価格(店頭

予想価格は1500〜1600円)で販売する。このほか、別売りでキャップも18色揃えて、自分だけのグリップスタイルを楽しめる。



グリップ本体とキャップとも18色のカラーバリエーションから選べるエリートグリップ

同社では現在、大阪地区の工房のあるゴルフ専門店を中心に販売しているが、「商品を理解し、育ててもらえる店を中心にテリトリーを分けて展開していきたい」(軽部社長)としている。